

田中 誠, 2000b. 文学や昔話と昆虫. 遺伝, 54, 31-35.  
 梅谷献二, 2004. 虫を食べる文化誌. 319 pp. 創森社, 東京.  
 Waldbauer, G., 2009. Fireflies, honny and, silk. 194 pp., University of California Press, USA.  
 山本健吉・鷹羽狩行, 1982. 螢, pp. 314-316. 水原秋櫻子・加藤楸郎・山本健吉(編), カラー図説日本大歳時記(夏), 497 pp. 講談社, 東京.  
 遊磨正秀, 2002. ホタルに関する俳句の時代変遷. 全国ホタル研究会誌, (35), 16-18.

遊磨正秀, 2004. “俳句にみる自然観の変遷—昆虫にかかわる用法から”, pp. 377-407. 上田哲行(編), トンボと自然観, 504pp. 京都大学学術出版会, 京都.  
 遊磨正秀・後藤好正, 1999. 文化昆虫ホタル～古典の中から～. 全国ホタル研究会誌, (32), 10-16.  
 遊磨正秀・永江秀作, 2000. 新聞記事にみるホタルへの関心. 全国ホタル研究会誌, (33), 14-18.

### 【短報】千葉県におけるオビデオゾウムシの記録

オビデオゾウムシ *Orsophagus trifasciatus* Roelofs, 1874 は, 本州, 四国, 九州および韓国の済州島から知られるゾウムシ科の甲虫である。

筆者は, 以下のように, 千葉県で採集しているので記録しておく。

14exs., 千葉県南房総市白浜町乙浜, 10. IV. 2011, 筆者保管。

本州からの記録としては和歌山県, 福井県(佐々治ほか 1998), 愛知県(伊澤 2001)などが知られ, 今回の記録は, 現時点での分布東限にあたるものと思われる。同地は, 房総半島の最南端に位置している。

Kojima & Morimoto (2005) によれば, 本種は成虫で越冬し, 4月下旬から5月上旬に, センダン *Melia azedarach* L. var. *subtripinnata* Miq. の花に來集し, 雌は雄しべに産卵, その後, 幼虫は内部から花柱や子房を食べ, 老熟幼虫は地面に降りて土中で蛹化するそう。また新成虫は6月に出現し, センダンの若葉やセンダンコクロキジラミ *Metapsylla uei* Y. Miyatake によって形成されたゴール(葉捲)から発見されるという。

今回, 得られた個体はすべて, 晴天時に, 海岸近くの耕作地と照葉樹林の境に生えたセンダンの若木の比較的新しく伐採された株上(直径10cm内外)を活発に徘徊していた。同時に, 切り株上で交尾体勢をとっているペアも観察された。日がかげると, 樹皮の裂け目に静止して落ち着く個体もみられた。

時期から考えて, センダンの樹皮の裂け目などで成虫越冬した個体が活動を開始したものの, 冬の間木が伐採されたため行き場を失った状況下で, センダンの切り株に集中していたものと推測された。

### 引用文献

伊澤和義, 2001. 愛知県における甲虫類の採集記録(IV). 佳香蝶, 53(207), 42.

Kojima, H., & K. Morimoto, 2005. Weevils of the tribe Acalyptini (Coleoptera: Curculionidae: Curculioninae): redefinition and a taxonomic treatment of the Japanese, Korean and Taiwanese species. *Esakia*, (45), 65-115.

佐々治寛之・井上重紀・酒井哲弥・斎藤昌弘・陶山治宏, 1998. コウチュウ目. 福井県昆虫目録(第2版), 99-311 pp., 福井県自然環境保全調査研究会昆虫部会編, 福井県.



図1. オビデオゾウムシが採集されたセンダンの切り株。



図2. 樹皮の裂け目に静止する個体(矢印), 図3 千葉県産オビデオゾウムシ。

(〒350-0825 埼玉県川越市月吉町32-17

亀澤 洋)